

令和 7 年 5 月 27 日

**「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告**

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 欧州における先進的半導体研究機関との交流協定を締結

この度、本学の先進理工系科学研究科、および半導体産業技術研究所は、欧州において最先端の半導体研究を進める 3 機関 (IMEC、FZJ、IHP) との交流協定を締結しました。

IMEC International (IMEC) は 1982 年、ベルギー政府が、同国北部フランダース地方のマイクロ・エレクトロニクス産業を強化するためのプログラムを立ち上げた際に設立された研究機関であり、現在、半導体関連産業が集積するリサーチ・コンプレックスの代名詞として、世界的な名声を博しています。

ユーリッヒ研究センター (FZJ) はヨーロッパ最大の学際的研究センターの一つであるヘルムホルツ協会の創立メンバーでもあり、エネルギー・情報・バイオエコノミーという未来の主要分野を含め、幅広い分野における基礎研究から応用研究を推進しています。

ライプニッツ高性能マイクロ・エレクトロニクス研究所 (IHP) は、1983 年に設立された シリコン/ゲルマニウム・エレクトロニクス分野における世界有数の研究機関であり、この分野では、半導体技術、材料研究、高周波回路設計、システム・ソリューションにおいて、広範かつ密接な国際的ネットワークを有しています。

これら 3 機関のうち、特に、IMEC (Interuniversity Microelectronics Centre) は、本学が推進する J-PEAKS 事業のモデルでもあり、この度の協定締結によって、本事業の目的である「人・知・資源の好循環」のハブとなる異分野融合エコシステム「Hiroshima Research & Innovation Valley (Hi-RIV)」の形成に向けた取り組みのさらなる推進が期待されます。

(2) 世界的な長寿医療コンペティション XPRIZE Healthspan TOP40 に 入賞

東北大学大学院医学系研究科分子病態治療学分野の宮田敏男教授、株式会社

レナサイエンス、東海大学、ノースウェスタン大学等、および本学は共同で、健康寿命延伸を目指す世界的コンペティション XPRIZE Healthspan に参加、この度、TOP40（セミファイナリスト）に入賞しました。

XPRIZE Healthspan は、人間の老化や長寿に対する治療アプローチに革命を起こし、健康寿命を積極的に 10 年以上延伸することを目的とした世界的なコンペティションであり、今回、世界から 600 以上のエントリー、200 以上の書類応募があり、東北大学は TOP40 に選出されました。

本学からは田原栄俊副学長、平田泰三教授、高橋陵宇准教授が、本事業の臨床研究に参画しており、その研究資金の一部は、J-PEAKS の支援を受けています。

ファイナリストへの選出を目指す本研究チームとともに、本学は健康寿命を延ばすための革新的な医薬品開発を推進していきます。

(3)ベトナム国家イノベーションセンターと連携協定を締結

2025 年 4 月 28 日、ベトナム国家イノベーションセンター(NIC)が主催する「日越協力フォーラム –ハイテク・GX・半導体分野における高付加価値産業創出に向けて–」の開催に際し、石破茂内閣総理大臣およびファム・ミン・チン首相ご臨席のもと、広島大学は NIC と連携協定を締結しました。

現在、広島大学は、米国のアイダホ大学と協力し、J-PEAKS の重点拠点の一つでもある半導体分野における新たな国際教育プログラムの立ち上げを進めています。本プログラムは、アジア各国から優秀な若者を迎え、半導体分野の専門人材を育成することを目指しており、この度、その一環として NIC との連携協定を締結する運びとなりました。

今後、本協定に基づき、NIC からベトナムの学生に対する奨学金支援が行われる予定であり、優秀な人材の育成と教育機会の拡大とともに、J-PEAKS の半導体拠点におけるさらなる研究の推進が期待されます。

(4)第 66 回科学技術週間「先端科学体験セミナー 集まれ！おもしろ科学体験」の開催

科学技術週間は、科学技術の大切さを 1 人でも多くの人々に理解していただくこと、日本の科学技術をさらに発展させること等を目的に制定され、「発明の日」(4 月 18 日)を含む 1 週間と定められています。

この度、第 66 回科学技術週間にあわせて 4 月 19・20 日に、J-PEAKS の中核拠点である放射光科学研究所において、小中学生を対象とする科学体験イベントを開催しました。当日は、放射光実験施設の見学や、「霧箱」を用いて宇宙や地球からの粒子の観察などが行われ、盛況のうちに終了しました。

本学は、J-PEAKS を通じて異分野間の融合研究・連携を推進するだけでなく、このような取り組みを通じて、次世代を担う研究者の育成にも努めています。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されている。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略グループ 前田

TEL:082-424-5656

Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp